

■ポーランド・ドイツ：ポーランド、ドイツのループフロー対策に設備投資

ポーランドの系統運用者である PSE は 2012 年 2 月 17 日、業界紙のインタビューに対し、ドイツからのループフローによる影響を軽減するため、移相変圧器の設置計画を進めるとした。移相変圧器は潮流を制御することにより、送電線容量が超過することを防ぐ。現在、ドイツ北部にある風力発電設備が大量に発電した場合、同地域で発電した電力を消費できずに余剰分がポーランドに流れ込んでおり、ポーランドの系統を脅かしている。PSE はこの問題を解決する手段として、移相変圧器の設置以外には、ドイツ北部の発電量抑制が唯一可能な措置だとしている。同様にドイツからのループフローに悩むチェコは、既に 20 億コナ（約 85 億円）を投じて移相変圧器を導入している。